

# 磐田 NPO 交流センター通信

- 磐田 NPO 交流センター通信 創刊号 平成 13 年 10 月 1 日発行
- 発行者 / 磐田市総務部地域振興課 〒438-8650 磐田市国府台 3-1 TEL(0538)37-4811
- 編集 / 磐田 NPO 活動推進協議会 〒438-0078 磐田市中心中央町 112-4 TEL(0538)36-1890



管に向け、協議が始まりました。平成 12 年 9 月旧労働会館を利用し、公設民営の磐田 NPO 交流センターが開所し、活動推進協議会が管理運営を行っています。

## NPO 交流センター NPO になろう

平成 10 年、阪神大震災を大きなきっかけとして、NPO 法(特定非営利活動促進法)が制定されました。現在、磐田市には、NPO 法人が 7 つ(動物会議・磐田 NPO サポートセンター・静岡生涯教育事務所・磐田ふれあい基金協会・こどもの森・磐田市体育協会・ふれ愛ひろばくすの木)あり、法人数では、県内でも四番目の市民活動が盛んな地域であります。そういった環境の中、平成 11 年 7 月、市内のボランティア団体・NPO 法人を含む市民活動団体の参加のもと、磐田 NPO 活動推進協議会が組織され、市民活動の拠点となるセンター運



NPO は、ボランティア活動や市民活動を行う非営利の民間団体やグループのことです。現在、交流センターには、活動推進協議会の会員 24 団体を含め、52 団体が利用者団体として登録しています。「困っている人の助けをしたい」「環境を守りたい」「子供たちのために「まちづくり」などさまざまな思いの方が集い、活動をしています。活動の大小に関わらず、磐田市の NPO をより活発にしようというお気持ちのある方やグループの方々、是非お寄りください。活動の情報交換だけでも広報などで、みなさんのお役にたてると思えます。

交流センターの施設と利用について紹介します。



利用できる方は、磐田市を中心に活動する非営利のボランティア活動や市民活動を行う団体・グループの構成員です。(個人目的や遊戯・趣味、政治的・宗教的活動は除く。)

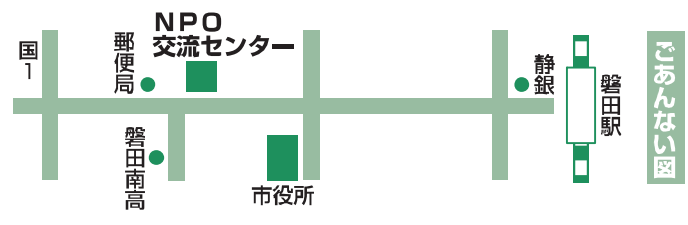
**利用者登録**…無料  
夜間・休日利用は、磐田 NPO 活動推進協議会への加盟が必要です。(年会費 2000 円)

**利用できる施設**…印刷機使用(無料)・コピー機(無料)・メールボックス・ロッカー 1 団体 1 個(無料)・1 階事務局・2 階会議室(少人数から 60 人程度使用可)

**休館日**…水曜・日祝祭日・臨時休館日

**会館時間**…午前 9 時から午後 5 時(夜間・休館日使用は推進協議会加盟団体)

**駐車場**…5 台収容



**磐田 NPO 活動推進協議会**  
今年度から、推進協議会の理事会構成メンバーを交流部会と事業部会に分け、それぞれの思いの部分で施設の管理運営と交流センターを基点とした市民活動の活性化に努力しています。

**昨年の事業**…パネライブラリー・交流フォーラム・NPO リーダー養成講座(全 2 回)

**本年度の事業**…一周年フォーラム(9 月)・NPO 講座 & 交流フォーラム 2(12 月)・NPO 交流センター通信(年 3 回全戸配布)・推進協議会加盟団体の活動支援(現在いわた中泉コンソーシアムを支援しています)。

NPO の会議、研修やイベント、印刷や編集作業などに気軽にご利用ください。

# 子どもたちと創る地域づくり 第二弾!! わが町発見 久保川たんけん隊

後援 磐田市・磐田市教育委員会

8月19日(日)、「いわた中泉コンソーシアム」主催による地域教育推進事業が行われました。今回は中泉地区を対象に参加者を募集しましたが、今後はここを拠点としてさらに広めていくことを考えています。当日は小学生から高校生・おとなまで幅広く、主催者を含めて35名の参加がありました。

久保川たんけんの日は天候にも恵まれました。午前9時磐田NPO交流センターで説明会を開き、行政面での久保川管理の話(市役所担当者)や市生涯大学いきいき学園郷土史クラブ講師佐藤俊三さんの久保川の話を聞いてから、フィールドワーク(現地調査・踏査)



久保川のことを「どんどん川」って言うけど、水がドーン、ドーンと落ちていたから...

に出発しました。今回のスタート地点は、市健康増進センター東側です。自分たちがイメージしていた久保川との違いに、参加した誰もが驚いていました。水があつたりなかつたり、歩道や車道になつてしまつて見えなかつたり、回り道をしたりして歩きました。市役所南側には昭和52年に作られた水門がありました。大雨が降り水量が増した時、下流が水害を受けないよう調整していたそうです。通り道にあつた通称「弘法さま」(八景寺跡)に興味をもつた人もいたようでした。開筵楼跡地西側に風情のある池をみんなでのぞきました。その後は、田町から栄町へ入ります。ここは、旧東海道であり、今でもその面影が残っているのではないかと思われるような家並みもありました。大きく迂回してJR線の南側に回ると、この日のフィールドワークの終点、メルシャン工場の西側に出ます。川幅が急に広くなるところでもあるのです。川の様子が変わると町の姿もさまざまに変化していることに気づきます。川筋を歩いたことにより、参加者同士の



「えーっこれが久保川?これってどぶじゃあないの?」「この上の方はどうなってるの?」

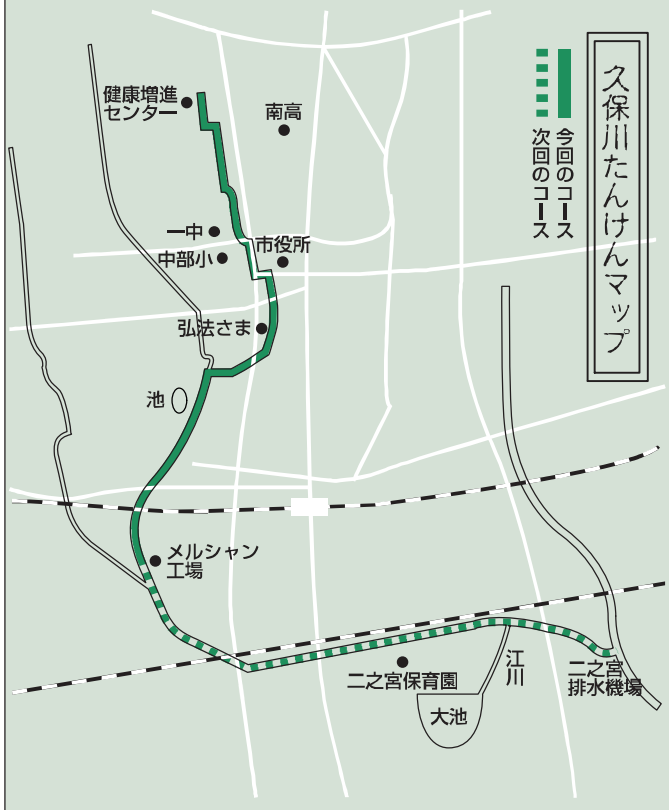


「ここからはガッチリできて、水が集まるところかな。」「この先に古い水門があるね。」

年代を超えての豊かな交流が生まれました。ご近所の方が声をかけてくれ、とても温かな気持ちになりました。普段、何気なく見ている久保川もゆつくりじっくり見つけてみると、いろいろなことに気づくものです。フィールドワークすることによって多くのことに気づき、考えました。そして、その思いを一歩前へ進めるような第二弾、9月15日(土)の「フィールドワークの続き」とまとめが楽しみです。この広報誌がお手元に届く頃には活動が実施され、次の活動へと発展していることでしょう。10月中旬下旬ごろに計画している第三弾の内容は、参加者の希望や意見を取り入れながら組み立てる予定です。



東とんどん橋―昔はもう少し北の方にあつて木の橋だつた。



「いわた中泉コンソーシアム」とは?

子どももおとなも一緒に楽しみながら活動していく中で、ネットワーク化を図り、地域づくりをしていこうというグループが集まりました。運営に参加する人を歓迎します。活動の拠点は、磐田NPO交流センターです。

〈事務局〉

磐田NPO交流センター内  
〈構成グループ〉

磐田NPOサポートセンター  
2センスクラブ

あお空衆

(社)磐田青年会議所

いわた市民ねつとわあく

〈代表〉 三輪 邦子



### 磐田ふれあい基金協会

代表 飯田 好治 (いいた よしはる)  
 事務局 磐田市中央町112-4  
 磐田NPO交流センター内  
 TEL 36-0833  
 設立 平成2年5月20日  
 構成 21名(男子17名・女子4名)  
 参加・協力方法  
 当協会の設立趣旨、事業目的に賛同し、活動を共にする気持ち・意欲のある方、活動を資金面で支援頂ける方、歓迎いたします。  
 年会費は、3000円です。ご参加をお待ちしています。  
 活動目的・活動内容  
 当協会は、高齢者や障害者にやさしいぬくもりのあるまちづくりを目指し、左記の事業(活動)を行っています。

### NPO動物会議

代表 藤江 利彦 (ふじえ としひこ)  
 事務局 磐田市中央町112-4  
 磐田NPO交流センター内  
 TEL 36-3062  
 設立 平成2年4月  
 構成 307名(静岡県・愛知県ほか)  
 参加・協力方法  
 動物の権利と福祉について賛同される方、ご入会お待ちしております。  
 個人賛助会員/年5000円  
 家族賛助会員/年5000円  
 少年賛助会員/年2000円  
 法人賛助会員/10000円  
 正会員/年6000円  
 活動目的・活動内容  
 人と動物の平和共存をめざして、主に犬や猫などの身近な動物への福祉・救命活動を行っています。

### グループチャット 磐田エコマナー研究会

代表 今村 信大 (いまむらのぶひろ)  
 事務局 磐田市国府台9-12  
 TEL 34-7015  
 設立 平成12年9月25日  
 構成 17名  
 参加・協力方法  
 入会金・会費は不要です。どなたでもご入会いただけます。当会に登録申込書を提出して「チャット」を受け取ってください。  
 協賛募金または賛助会費を受け付けています。  
 活動目的・活動内容  
 助け合えるまちづくりと地域活性化  
 ①地域を変える助け合いの絆・コミュニケーションづくり  
 ②地域の活性化と市民自らの活動の場づくり・まちづくり  
 ③市民の皆が持っている知識や才能・時間などが社会で生かせるシステムづくりを目的としています。  
 一人はみんなのために！  
 みんなは一人のために！

### 桶ヶ谷沼を考える会

代表 鈴木 裕司 (すずき ゆうじ)  
 事務局 磐田市中泉277-1  
 とんぼハウス  
 TEL 37-3888  
 設立 昭和61年12月  
 構成 役員12名・400名(男性300名/女性100名)  
 参加・協力方法  
 桶ヶ谷沼を考える会会員



年会費/大人2000円  
 高校生以下1000円  
 桶ヶ谷沼を考える会トシボ天国保全トラスト 一口1000円  
 活動目的・活動内容  
 桶ヶ谷沼の貴重なベッコウトンボを始めとする66種類のトンボや野鳥・400種類以上の植物群落を育む自然環境を破壊から守る事を目的としています。また、人間生活と自然の関わり、情操教育に役立つ自然の宝庫として「桶ヶ谷沼」を保全し、子孫に伝えたいと思っています。

### しずおかケナフの会

代表 金原 善昭 (きんはら よしあき)  
 事務局 磐田市中央町112-4  
 磐田NPO交流センター内  
 TEL 36-1890  
 設立 平成10年2月  
 構成 30名(男子20名・女子10名)  
 参加・協力方法  
 ケナフの植栽・収穫時の参加普及のためのイベントの参加ケナフの有効利用の研究  
 多くの方の参加・ご協力をお願いします。  
 年会費・個人会員/1000円  
 法人会員/10000円  
 活動目的・活動内容

### いわた女性の会

代表 田中しず子 (たなか しずこ)  
 事務局 磐田市国府台3-1  
 磐田市役所企画調整課内  
 TEL 37-4805  
 設立 昭和62年  
 構成 212名  
 参加・協力方法  
 この会の目的に賛同する磐田市内の婦人団体・グループであれば入会できます。ただし、政治・宗教・営利目的及び単なる趣味の団体は除きます。会費は1グループ年間2000円です。  
 活動目的・活動内容  
 当会は、加入団体・グループの各活動の連携を図るとともに親睦を深め、男女共生社会をつくることを目的にしています。  
 いわた女性の会加入団体グループ  
 磐田健康づくり食生活推進協議会・えふおーるOG会・遠州の園市民ボランティア・クリッピング編集委員会・サークル「こなのり」・キラット・グループとんぼのめ・せせらぎ



① ボランティア育成事業  
 ② 高齢者・障害者夢サポート事業  
 ③ 寝たきり高齢者・障害者に対する美整容訪問サービス紹介  
 ④ シニアいきいき倶楽部育成事業  
 ⑤ シニアふれあいサロン事業  
 ⑥ 献血普及活動と日赤事業への協力

## NPOとは

これからの地域主権社会の確立にとって必要とされるシステムの一つに、市民参加による公共サービスの提供があります。つまり、「公平・平等」という原則の行政や「利益追求」という企業の本質では賄えない部分を担うシステムです。

これは、以前から行われてきたボランティアや市民活動が担ってきたことですが、社会システムの一翼を担うには社会的な認知や資金力、組織的な力など十分でない点があります。

阪神淡路大震災をきっかけに、こうした活動を社会的に認知し、自己責任において自由な活動を行いやすくなるために成立したのが98年3月に可決され、同年12月から施行された「特定非営利活動促進法」いわゆるNPO法です。この法律によって、これまでの任意団体が法人格を取得することができるようになりました。

これによって、団体としての社会的な地位を確立し、同時に専門性と役割、そして責任を大きなものにするのが可能になりました。

## NPOとはNon-Profit Organization

民間非営利団体と訳されます。非営利ということは、収入を得ない、ということではありません。運営・維持には最低限の資金が必要ですから、その分はどこからか収入を得る必要があります。ですから、全てを無償で行うことなく、必要な経費は企業の寄付や行政からの委託、会費あるいは受益者負担という形で資金を調達します。事業を通じた対価として収入があってもいいわけです。

## What's NPO?

大切なことは「利益を出さない」ということで、経費を上回る余剰が出た場合でも、全額を次の活動資金としていきます。収入を構成員に分配することはありません。いつてみれば、必要経費分の収入だけで運営される会社のようなものです。有給の専属スタッフをおく事が可能で、より日常的、専門的なサービスを低コストで提供する事になります。

新しい社会の中で、行政、企業とともに社会を担って行く、市民主導のまちづくりの一つの手法として第3のシステムとなる事が期待されます。

## INFORMATION

### ○いわた地球

10月21日(日) 13:30~  
廃棄物利用による生ゴミ処理実演会

11月15日(木) 19:00~

地球環境について勉強会

12月15日(土) 19:00~

地球環境について勉強会

—NPO交流センター—

### ○アール鉄道同好会

10月14日 9:00~15:00

鉄道模型の運転展示

長野公民館

### ○いわた東海道四〇〇年祭見付地区実行委員会

11月3日(土) 16:00~21:00

見付宿くらしの物語

—見付宿場通り

### ○桶ヶ谷沼を考える会

10月21日(日) 10:00~12:00

秋の赤とんぼ観察会

—桶ヶ谷沼

### ○バイクボランティアネットワーク

11月17日(土)  
全日本バイクサッカー選手権大会

—今之浦市有地

12月2日(日)  
地域防災訓練

### ○遠江国分寺を考える会

12月22日(土) 14:00~

講演「遠江国分寺の造営」

—中泉公民館

※参加自由

問い合わせ 32-3309

(大場)

### ○磐田子ども会世話人連合会

11月4日(日) 8:30~

ジュビロカップドッジボール大会

—磐田第一中学校

※参加チーム募集中

問い合わせ 35-4325

(生涯学習課)

### ○向笠地区社会福祉協議会

12月5日(水) 14:00~

地域福祉研修会

問い合わせ 38-0219

(寺田)

## INFORMATION

## 発行にあたって

この度広報誌の発行に際し、一言ごあいさつを申し上げます。皆様方もご記憶に新しいことと存じますが、県下初めての公設民営方式の磐田NPO交流センターがオープン致しました。開設に当たりましては市及び市議会を初めとして多くの方のご尽力とご支援によって実現を致した次第です。そこで私達磐田NPO活動推進協議会が主体となり管理運営に当たり今年度より本格的に行って参ります。一般市民及び市民活動をされている方々に、より一層の施設の利用はもとより広報活動を通じ皆様方のご意見や要望等を交流センターにお寄せ下さい。

平成13年10月1日

磐田NPO活動推進協議会

会長 飯田 好治

